



## (ISC)<sup>2</sup> CSSLP 認定資格向け コンピュータベース試験の提供を発表

利便性とセキュリティの強化により受験者の受験体験を向上し、  
情報セキュリティプロフェッショナルの需要に対応

パームハーバー、フロリダ州、アメリカ合衆国、2010年4月7日 - 全世界に6万6,000人を超える認定資格保持者を抱え、情報セキュリティプロフェッショナルのキャリア全体を通じた教育と認定制度におけるグローバルリーダーである非営利団体(ISC)<sup>2</sup>® (アイエスシースクエア)は、CSSLP (Certified Secure Software Lifecycle Professional) 資格のコンピュータベース試験を、本日より提供開始することを発表しました。

筆記試験から移行する初めての(ISC)<sup>2</sup>認定試験となる CSSLP 試験は、全世界の500カ所近くのピアソン VUE 試験センターで受験可能となります。(ISC)<sup>2</sup>のコンピュータベース試験を提供するピアソン VUE は、情報技術、学力、政府、およびプロフェッショナルの試験プログラム用コンピュータベース試験のグローバルリーダーです。

ピアソン VUE を通じた(ISC)<sup>2</sup>コンピュータベース試験のメリットには、以下のものがあります。

- **利便性の向上**—世界中に受験会場の数が増えることに加え、ピアソン VUE を通じたコンピュータベース試験によって、試験日時の選択の幅も広がります。(ISC)<sup>2</sup>が受験申込を承認すると、受験者は、インターネットで一日24時間、毎日、テストセンターの開場時間であればいつでも、試験の予定を入れることができます。更に、受験者は試験結果の通知を試験終了後直ちに受け取ることができます。
- **一貫した試験環境**—各ピアソン・プロフェッショナル・センターでの受験体験は、全く同じです。つまり、全施設のレイアウトが全く同じで、機材や試験過程も同一であるため、全ての受験者に一貫した体験を提供でき、受験者の能力を公平かつ正確に評価することができます。
- **旅費の削減**—より多くの受験会場の選択肢を提供することで、ピアソン VUE を通じたコンピュータベース試験は、個人や組織の旅費や宿泊費を削減します。
- **セキュリティ対策の強化**—ピアソン VUE テストセンターには、認定試験監督官がおり、受験者の本人確認を行うための高度なバイオメトリック照合、ビデオと音声による監視、試験問題および合否結果の暗号化、異常検出、およびその他犯罪科学的予防手段を採用しています。



(ISC)²のエグゼクティブ・ディレクターである W. Hord Tipton, CISSP-ISSEP、CAP、CISA は次のように述べています。「ピアソン VUE を通じたコンピュータベース試験は、CSSLP 認定資格の受験者に、最もプロフェッショナルで利便性の高い受験体験をもたらしてくれることでしょう。また、ピアソン VUE は、世界中の一流組織にサービスを提供していることからわかるように、ピアソン VUE に所属する CISSP 認定保持者によって監視されている非常に安全な試験プロセスを提供しています。」

(ISC)²は、世界で情報セキュリティプロフェッショナルの増加が見込まれることに対応するためにも、今後 3 年間かけて、他の全ての資格認定試験にもコンピュータベース試験を段階的に導入する予定です。最新の(ISC)²グローバル情報セキュリティ・ワークフォース・スタディ (GISWS) によると、情報セキュリティプロフェッショナルの数は、10%の複合年間成長率 (CAGR) を示し、2012 年までにほぼ 270 万人に増加すると見込まれています。

CSSLP は、ソフトウェアのライフサイクル全体に関するベストプラクティスを確立し、セキュリティの課題に取り組む個人の能力を認証することによって、ソフトウェア脆弱性の急増を防ぐことを目的としています。また、特定の言語コードに関する資格ではないので、アナリスト、開発者、ソフトウェアエンジニア、ソフトウェアアーキテクト、プロジェクトマネージャー、ソフトウェア品質保証試験者、プログラマー、およびそれ以外のソフトウェアのライフサイクルに関わる方々の能力を証明することができます。

CSSLP 受験者は、受験資格の承認を得るために、ソフトウェア開発ライフサイクルプロセスにおける 4 年間の実務経験、もしくは、3 年間の経験と IT 分野の学士号（または各地域での同等学位）の保持を証明しなければなりません。厳しい試験に合格し、場合によっては無作為の実務経験監査を受けた後、受験者は、既存の(ISC)²認定資格保持者による推薦を受け、(ISC)²の倫理規約に合意しなければなりません。また、資格を維持するためには、年間継続教育単位 (CPE クレジット) を取得しなければなりません。

全ての CSSLP 受験者は、ピアソン VUE に受験予約登録をする前に、(ISC)²のウェブサイトから受験申し込みを行う必要があります。(ISC)²は、申込内容を審査し、受験資格があるかどうかを判断します。承認されると、(ISC)²はピアソン VUE に対して、その受験者が試験を受ける資格があることを通知します。受験者は、受験承認通知を受け取ると、90 日以内に CSSLP 試験受験の予定を決め、受験しなければなりません。受験者が 90 日以内に試験を受けなかった場合、その受験者は、(ISC)²のウェブサイトより再度申し込みを行い、あらためて承認を受けなければなりません。

CSSLP のコンピュータベース試験の内容は、筆記試験と同一で、その配信方法が異なるだけです。CSSLP のコンピュータベース試験の受験費用は 549 米ドルで、試験は現在のところ英語でのみ提供されています。



CSSLP 試験の受験者は、ピアソン・プロフェッショナル・センター、ピアソン VUE 公認試験センター・セレクト、および世界の米軍施設に設置されたピアソン VUE 公認試験センターで受験できます。

CSSLP のコンピュータベース試験の申込は <http://www.isc2.org/certification-register-now.aspx> に行うことができます。

その他詳細な情報については、下記 URL (英文) もご参照ください。

- CSSLP コンピュータベース試験についての受験者便覧：  
<http://www.isc2.org/uploadedFiles/Downloads/CSSLP-CBT-Candidate-Information-Bulletin.pdf>
- ピアソン VUE のコンピュータベース試験のデモンストレーションおよびチュートリアル：<http://www.pearsonvue.com/ppc/>
- ピアソン VUE を通じた(ISC)²認定資格試験詳細：<http://www.pearsonvue.com/isc2>
- よくある質問：<http://www.isc2.org/csslp-cbt-faqs.aspx>

(ISC)²について

(ISC)²は、世界 135 カ国以上で 66,000 人以上の認定情報セキュリティプロフェッショナルの会員を擁する、最大級の非営利会員団体です。(ISC)² は、代表的な資格として世界中で認知されている Certified Information Systems Security Professional (CISSP®)およびその上位資格、また Certified Secure Software Lifecycle Professional (CSSLP®)、Certification and Accreditation Professional (CAP®)、Systems Security Certified Practitioner (SSCP®)の認定を行っています。これらの認定資格は、IT 関連資格としては初めて、個人認証制度に対するグローバル基準のベンチマークである ANSI/ISO/IEC 標準 17024 の認証を取得しています。(ISC)²はまた、情報セキュリティ知識を体系化した CBK®に基づき、教育プログラムやサービスを提供しています。詳細は、<http://www.isc2.org> をご覧下さい。

###

© 2010, (ISC)² Inc. (ISC)², CISSP, ISSAP, ISSMP, ISSEP, CSSLP, CAP, SSCP 並びに CBK は(ISC)², Inc.の商標です。

(ISC)²に関する最新情報は・・・

Twitter (<https://twitter.com/ISC2>)および YouTube(<http://www.youtube.com/isc2tv>)でも提供しております。

報道機関からのお問い合わせ

Mike Kilroy or Juliette Mutzke

Maples Communications, Inc.

(949) 855-3555

[mkilroy@maples.com](mailto:mkilroy@maples.com)

[jmutzke@maples.com](mailto:jmutzke@maples.com)